

./CC./

TiON[®]

In Office

患者さんにやさしいオフィスホワイトニング。

ティオン オフィス

歯科用漂白材



患者満足度を高めるホワイトニング

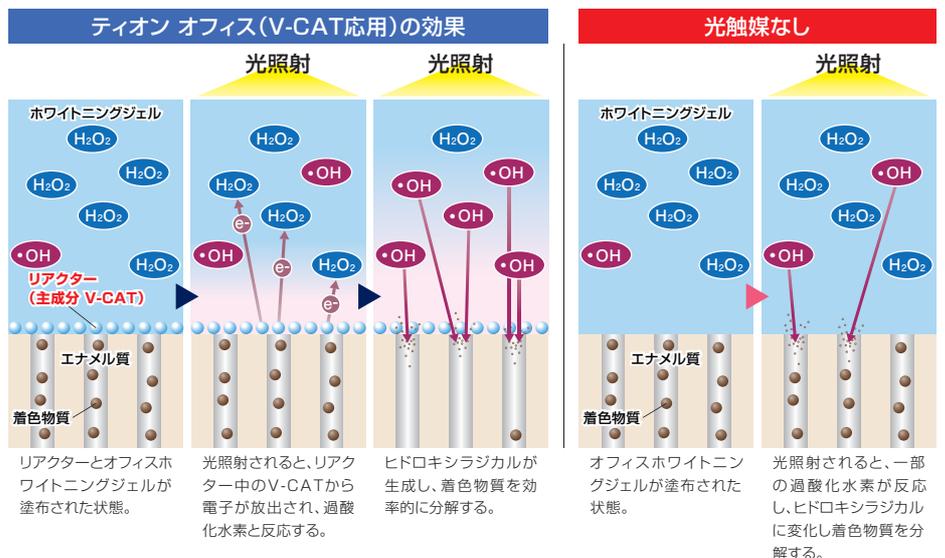
ホワイトニングの効果は、単に歯を白くすることだけに留まりません。白い歯を手に入れた患者さんはもっと健康になりたいという意識が高まります。一方、補綴や矯正治療を行う患者さんは、よりきれいにとの想いを持っており、ホワイトニングはそれに答えることができます。このようにホワイトニングは、そのほかの診療と相互関係を保ち、患者満足度をより高めることができます。

患者さんにやさしいオフィスホワイトニング材「ティオン オフィス」

オフィスホワイトニングはその日のうちにホワイトニング効果が求められるため、高い過酸化水素濃度のホワイトニング材を用いる必要がありますが、濃度が高くなればなるほど知覚過敏など有害事象発生のリスクも高まります。ティオン オフィスは新技術「可視光応答型光触媒V-CAT(TiO₂-xNx)」の応用により、比較的低い過酸化水素濃度での高いホワイトニング効果と低刺激性を両立させた新しいオフィスホワイトニング材です。

「V-CAT[®] (可視光応答型光触媒)」により、高い漂白効果と低刺激性の両立を実現

リアクターに含まれる可視光応答型光触媒V-CATは、光照射されると電子を放出し、過酸化水素と反応します。このことにより、ヒドロキシラジカルがより多く発生し、着色物質を効率よく分解します。このため、ティオン オフィスの過酸化水素濃度は約23%と比較的低濃度でありながら、高いホワイトニング効果を実現しました。



透明感のある自然な白さに

ホワイトニングジェルのpH値は約6で、エナメル質を脱灰しにくく、自然な透明感のある白さが得られます。



1 インフォームドコンセント
患者さんに対してインフォームドコンセントを行います。
シェードテイキングを行い、口腔内の撮影を行います。



2 歯面の清掃
歯面清掃材プレティオンを用いて歯面清掃を行います。



3 保護
保湿効果の高いリップジェルを口唇に塗布し、リトラクター、つづいてフェイシャルシート、保護眼鏡を装着します。そしてコットンロール、ガーゼを用いて口唇の排除、粘膜面の保護を行い、最後に歯肉保護レジジンで歯肉部分を覆い歯科重合用光照射器で硬化させます。



4 ジェルシリンジの用意
シリンジAとシリンジBを接合し、内容物全量を左右交互に20回移動させ、しっかり混和します。混和後、全てのジェルをシリンジBに移します。



5 リアクター塗布
リアクターのボトルをよく振り、ディスプレイブルディッシュに5滴滴下します。そして付属のディスプレイブルブラシを用い歯面に一層塗布します。

⑤～⑧までを3回繰り返します

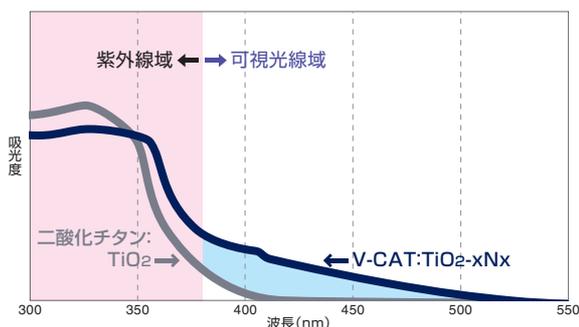
高いホワイトニング効果と低刺激性を両立させた新しいオフィスホワイトニング材です。



安全な光波長域で反応

一般的に二酸化チタン光触媒は、人体に対して有害とされている紫外線域の光にしかほとんど反応しません。一方、ティオン オフィスに採用している可視光応答型光触媒(V-CAT)は、二酸化チタンの酸素の一部が窒素に置換されることによって、紫外線域の光だけではなく可視光線域の光にも十分に反応し、歯科用照射器を用いたホワイトニングへの応用が可能となりました。

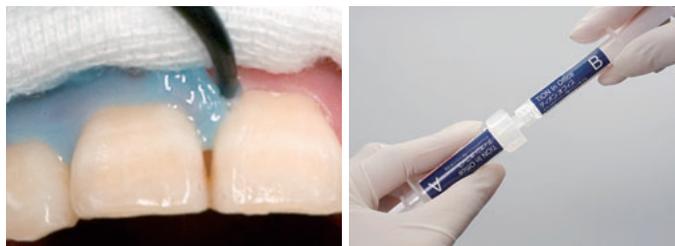
本製品は、豊田中央研究所が開発した可視光応答型光触媒 V-CAT[®] を使用しています。



安全にお使いいただけるシステム構成

ティオン オフィスは過酸化水素を安全に歯面に作用させるための工夫がなされています。

歯肉保護レジンとはホワイトニングジェルの歯肉への付着を防ぎます。また、ホワイトニングジェルはシリンジAとシリンジBを接合してジェルを混合し、直接ディスポーザブルファイバー付きチップから塗布できるため、安全にお使いいただけます。



6 口唇が乾燥して痛みがでないよう適宜リップジェルを塗布します。



ホワイトニングジェルの塗布
シリンジBにディスポーザブルファイバー
付きチップを装着し、歯面に塗布します。
ジェルの厚さは、1mmを目安とします。



光照射
塗布後、1歯につき1分間光照射を行います。



ホワイトニングジェルの除去
光照射後、綿球などでホワイトニングジェルを除去します。
この時、歯肉保護レジンが外れる可能性がある
ので水洗は行わないでください。



保護材の除去
歯肉保護レジンやガーゼを全て除去し、水
洗後、うがいをしてもらいます。



仕上げ研磨
フッ素含有のジーシーPTCペーストファイ
ンを用いて歯面清掃を行い、ホワイトニ
ングの完了です。
術前と比較するために、口腔内を撮影し
ます。



ティオン オフィス

歯科用漂白材

要冷蔵 **医薬用外劇物**

包装●オフィスホワイトニング材 シリンジA 1.0g 1本、オフィスホワイトニング材 シリンジB 1.0g 1本、リアクター 2.0g 1本、歯肉保護レジン 1.5g 1本、ディスポーザブルティッシュ 1個、ディスポーザブルブラシ 2本、ディスポーザブルファイバー付きチップ 2個

ティオン オフィス
高度管理医療機器 歯科用漂白材 22200BZX00785000

単品

歯肉保護レジン

要冷蔵

包装●1歯:1.5g 1本

禁忌・禁止等

下記の患者には本品を使用しないこと。

- 妊娠中の患者
- 無カタラーゼ症の患者
- メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマー、エタノールに対する発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者
- 軽度でも気管支炎及び喘息の患者
- 光線過敏症の患者

下記の歯には本品を使用しないこと。

- う蝕のある歯
- 知覚過敏を有する歯
- 象牙質露出が認められる歯
- 歯根露出が認められる歯
- 歯冠修復物が不適合な部分のある歯

本品を用いてウォーキングブリーチ法を行わないこと。

本品を用いて歯室内からの漂白を行わないこと。

臨床試験時に歯肉の白化が15%程度観察されたため、漂白処置は歯頸部歯肉が完全にカバーされていない状態(歯肉保護レジン0.5mm程度歯にかかるとように薬盛する)では行わないこと。

臨床試験の結果

治験の概要 72名の変色歯を有する成人を対象に、本品を用いて漂白処置を行い、その安全性と有効性の評価を行った。治験の結果について、下記に示す。

- 安全性 漂白処置中、漂白処置直後及び漂白処置から1週間後に問診・口腔内検査を行うことにより、安全性を評価した。その結果、有害事象として歯肉の白変が11症例、軽度の副作用(歯が乾燥してヒリヒリした)が1症例認められた。
 - 副作用なし:71症例
 - 歯肉の白変:11症例
 - 軽度の副作用:1症例(乾燥により歯がヒリヒリした)
- 有効性 漂白前後の歯の色を、明度順に並べたVITAPAN classical シェードガイドを用いてシェードテイキングを行い、その明度の差により有効性を評価した。その結果、全ての症例において歯の色調は改善され、漂白効果が認められなかった症例及び色調が暗くなった症例はなかった。
 - 3シェード以上改善:57症例
 - 1~3シェード改善:15症例

関連製品



プレティオン

歯科用歯面研磨ペースト

包装●1歯:1本 20g

一般医療機器 歯面研磨材
23B2X00038000037

株式会社ジーシーデンタルプロダクツ
愛知県春日井市鳥居松町2-2B5



フェイスシャル シート

包装●1歯:100枚



リップジェル

包装●1歯:1個 8g



リトラクター

サイズ●2種:S/Mサイズ
包装●1歯:5個

一般医療機器 歯科用開口器
13B1X00155000199

患者さんにやさしいホームホワイトニング



ティオン ホーム
高度管理医療機器 医薬品含有歯科用歯面清掃補助材
22000BZX00106000

ティオン ホーム

医薬品含有歯科用歯面清掃補助材

スターターキット

要冷蔵

包装●ホームホワイトニング材(2.5mL) 4本、トレーシート 2枚、トレーケース 1個、シェードガイド 1枚、ペーパーバッグ 1袋

単品

リフィル

要冷蔵

包装●1歯:ホームホワイトニング材(2.5mL)2本入×5

2リフィル

要冷蔵

包装●1歯:ホームホワイトニング材(2.5mL)2本入



G-ライト プリマⅡ

LED可視光線照射器

包装●G-ライト プリマⅡ本体、充電器スタンド 1個、ファイバーロッド φ8T 1本、ファイバーキャップ 5個、アイガード 1個、ACアダプタ 1個、電源コード 1本、衛生カバー 50枚

一般医療機器 歯科重合用光照射器
特定保守管理医療機器
13B1X00155000203

※色調は印刷のため、現品と若干異なることがあります。
※臨床写真は製品の性能を保証するものではありません。
※V-CATは豊田通商株式会社の登録商標です。
※掲載のジーシー研究所測定参考データは、2010年11月現在のものです。

ご使用に際しては、必ず製品の添付文書をお読みください。

株式会社 ジーシー

東京都板橋区蓮沼町76-1 〒174-8585

DIC (デンタルインフォメーションセンター)

お客様窓口 ☎0120-416480

受付時間9:00a.m.~5:00p.m. (土曜日、日曜日、祭日を除く)

<http://www.gcdental.co.jp>

支店

●東京(03)3813-5751 ●大阪(06)4790-7333

営業所

●北海道(011)729-2130 ●名古屋(052)757-5722

●東北(022)283-1751 ●九州(092)441-1286